



地域活動支援センター こまつがわ

ボーダレスって、こういうこと



アートにふれる 地域につながる

こまつがわの社会参加の四本柱「スポーツ」「音楽」「アート」「セルフヘルプ」。その「アート」の活動の一つが「エドてらす」です。「エドてらす」は、江戸川区近郊で障害のある人たちのアート活動を支援する人たちによるネットワークです。障害を持つ方々のアートの自己実現に必要な場の開拓と、アートによって街並みがソーシャルインクルードされることをビジョンに掲げ2019年に設立しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でイベント関係が制限され、活動が縮小されていました。

昨年度より「エドてらす」は再び活動を広げています。お世話になっている平井の本棚さん、そのご縁でつながった野村不動産さんとて、プリコラージュ平井が立ち上がりました。エドてらすに関わりのある方々100人、平井小学校の生徒さん100人で描いた金魚200匹が、平井駅前再開発の白い壁面に飾られています。部屋で、事業所でそれぞれが描いた絵が、そこを飛び出し、地域の中を地域の人たちに見守られながら泳ぐ姿は圧巻です。また、総合体育館とスポーツセンターにもバラアートの展示として、「エドてらす」のみなさんの作品が通年展示されています。

それらの活動の裏には、地域の関係機関の方々つながりや、一人ひとりの表現を大切にしようとする視点はもちろん、作品の展示や広報活動を手伝ってくれるメンバーさんたちの力があります。全てが表現活動であり、表現活動から生まれるつながりなのだと思います。

小さな部屋の、一人から生まれる表現活動。それは、絵、音、文章、ダンスなど、その形は様々です。その表現活動に気が付いて受け止める人と出会い、ネットワークの力で仲間とつながります。その中で、それぞれの役割が生まれ、支えあいながらアートという大きな力となって地域に広がり、そのアート触れた人が、作者やその背景を知っていく。

アートを通じて、人と人、地域がつながる活動。それが「エドてらす」です。